

障連協にゅーす

第 30 号

発行日 2013年11月30日
 編集 NPO法人
 旭川障害者連絡協議会
 発行者 高 津 修
 住 所 旭川市宮前通東4155番地30
 旭川市障害者福祉センター
 「おびった」3F
 電 話 0166-31-2226

■障連協にゅーす 30号目次

- 1 平成25年度旭川市障害者スポーツ記録大会
- 2 難病医療支援について
- 3 難病医療支援について

- 4 平成25年度旭川市障害者週間記念事業
- 5 編集後記

旭川市障害者スポーツ記録大会

10月27日の開催当日は雨天にも関わらず、多くの選手・応援者が集まり、体育館やプールで熱い声援の中戦いが繰り広げられました。

午前10時の開会式に始まり、大会長挨拶は旭川市長に代わり旭川市福祉保険部障害福祉課 西田昭夫課長が挨拶しました。今大会の参加者数は選手・スタッフ・ボランティア含め全体で304名でした。

体育館会場では、サウンドテーブルテニスをベースにしたゴロ卓球バレーを始め、卓球・フライングディスク・ボッチャなどが行われ、プール会場では、フリーリレーを含めた水泳多種目競技が行われました。

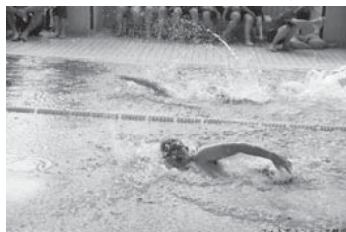
また、昨年度からの規定として2年連続優勝し

た者あるいはチームは次年度のエントリーがなくなり、今年度の受賞者も顔ぶれも変わりました。表彰は障害福祉課 西田課長から各受賞選手に手渡されました。

またスタッフの皆様・ボランティアの皆様には多くのご協力を頂きましたこと、紙面を借りてお礼申し上げます。

競技参加内訳：水泳競技で40名、卓球競技13名、サウンドテーブルテニス（STT）競技5名、ボッチャ競技19組（58名）、ゴロ卓球バレー3組（9名）、フライングディスク競技は午後からの他の競技終了者を含め60名でした。

各競技の表彰は以下のとおりです。



■サウンド・テーブル・テニス

優	勝		加藤 健二
準 優	勝		宮里 正二

■卓球の部

優	勝		西	敏幸	
準	優	勝		森	興市
3	位		加藤	祥高	

■ボッチャの部（3人～6人1チーム編成）

優	勝		佐藤 悟、廣路 繁、寺田 菜乃 (ニムビン)	
準	優	勝		青木 俊、太田一正、大野由紀子 (アカシア会)
3	位		三津原一美、藤野敏枝、小林敬子 (肢体協会B)	

■ゴロ卓球バレー（3名1チーム）

優	勝		棟方 勉、及川 満、大久保 有希 (旭川車イスの会)
---	---	-------	-------------------------------

■フライングディスク男子の部

優	勝		小坂	良成
準	優	勝		藤井 のぼる
3	位		鈴木	健太

■フライングディスク女子の部

優	勝		大坪	光枝	
準	優	勝		吉田	英子
3	位		設楽	由紀子	

■水泳100mリレー（25m×4名）

優	勝		廣瀬 大二郎、寺田 圭吾 松原 航太、隠岐 義人 (エンジョイ水泳サークル)	
準	優	勝		佐藤 美笛、藤村 美来 鈴木 皓正、太田 浩史 (あかしあ水泳サークル)
3	位		高田 弘毅、斉藤 祐輝 荒川 直紀、浅井 佑太 (旭川AフレンズA)	

難病患者に重い負担！あなたはたえられますか？

北海道新聞

2013年(平成25年)11月6日(水曜日)

難病医療費について体験を交えて語る大野更紗さん

難病医療費 国が助成見直し検討



新負担案を受け、大野さんは仲間とともに、税金などを差し引いた可処分所得に占める自己負担額の割合を試算。年収370万円の単身世帯では現行制度で2・4%なのが、

自身も患者 作家大野更紗さん

難病患者に対する医療費の助成制度を見直す作業を厚生労働省が進めている。同省の難病対策委員会は、助成対象者の自己負担額を引き上げるほか、現在は自己負担を求めている重症患者に対しても所得に応じた負担を求める案を示している。自分自身も難病患者で、難病政策の改革に取り組む作家の大野更紗さん(29)「東京都に在住」は、働く若い世代の患者への影響を危惧する。

「働く若い世代に負担」

生涯続く治療／「議論足りない」

新たな難病医療費助成での自己負担限度額(月額)

年収の目安 (夫婦 2人世帯)	生活保護	自己負担限度額 (患者負担割合=2割、 外来+入院)	
		原則 (新規認定者)	
		0円	
市町村 民税 非課税	約80万円 未満	3000	
	約80万円以上 約160万円未満	6000	
	約160万円以上 約370万円未満	1万2000	
	約370万円以上 約570万円未満	2万4600	
	570万円以上	4万4400	

※既認定者はおおむね3年間の経過措置を設け低所得者については、別途検討する

国は現在、原因が不明で難病性の56疾患の患者約78万人(道内は4万3千人)について、医療費の自己負担を3割とし、所得に応じて負担限度額を設定して助成している。このうち重症患者約8万1千人は無料としている。

対象拡大も限度額引き上げ

支障がある重症者のほか、軽症者は高額な医療を継続して必要とする人に限定。自己負担限度額は全体的に引き上げ、重症患者にも負担を求める。

厚生労働省は、今回の見直しについて介護、年金などの社会保障制度見直しを受けたもので、「公平かつ安定的な仕組み」にすると説明。2015年1月からの実施を目指している。

大野さんは「難病は治療法が確立されておらず、負担は生涯続く。先天性や若くして発症した人は、民間の医療保険に加入することもできない。高齢者の高額療養費に合わせる理由がわからない」と

疑問を投げかける。難病患者をめぐるのは、医療費助成を受けられる「特定疾患」が56に限られるなど「制度の谷間」が課題で、大野さんも改善を訴えてきたが、国は対象を300以上に広げる代わりに今の制度を使う人の負担増を打ち出した。

大野さんは「社会の中で一定の割合で削減しなきゃいけないという漠然とした国民感情に依存し、患者の実態も調べず、制度のあり方も十分に議論していないと強く反発している。

厚生労働省の改正案について

難病の公費助成 56疾患から300疾患に!!
(約78万人から(道内約4万3千人)約100万人に!!)

- 約5万人にも上る子どもの難病患者の多くが20歳になると助成が打ち切られる
- 重症患者(現在、医療費が無料で、道内約5千人)世帯収入に応じて負担を求められる点(日常生活に著しい支障がある重症患者は精神的にも経済的にも厳しい状況で受診を抑制するとさらに悪化する恐れがある)



チヨット・チヨット

※一般家庭の医療費負担はずうっ~と続くわけではない
しかし、難病患者の医療費は難病患者・重症者は永遠につづく負担増
※重症以外 3割負担。重症者も月次44,400円までの負担を求める制度改悪!
実態 「300疾患の重症の人」のみ医療費補助(医療費2割か44,400円)
それ以外の「300疾患で重症でないひと」3割負担か高額療養費 80,100円



これからは国会議員さんへの要望活動が大切です。

- 重症患者を排除しない
- これ以上の負担増としない (神経難病の方々の最新の要望です)

※ エッ!治療が受けられなくなるわ?!

Sさんの場合 クローン病 8週間に1回の治療が必要で現在も続行中
医療費60万円(レミケード・エレンタール等使用)

特定疾患助成 窓口支払 4,670円 年32,690円
改悪後 2割負担になると 12万円 年84万円
3割負担になると 18万円 年126万円

現在	2割負担	3割負担
4,670円	120,000円	180,000円

繊維筋痛症患者も
リウマチの患者
ベーチェット病患者等も
使用中

炎症性腸疾患で使われる主な治療薬

ペンタサ錠500mg	103.00	円
サラゾピリン錠500mg	23.10	円
アサコール錠400mg	86.10	円
エレンタール80g	447.20	円
レミケード100mg瓶	100,539.00	円
ヒュミラ40mg	71,097.00	円
ブレドニン錠5mg	9.60	円

※2013年10月現在

みんなで行こう



入場
無料

旭川市 平成25年度

無料
障害者週間記念事業
『共に生きる仲間として、障害を持つ方と交流してませんか？』

『共に生きる仲間として、陣営を持つ方と交流してみませんか？』

日時 12月1日(日)・11時~16時

場所 旭川市障害者福祉センター「おびった」
(旭川市宮前通東)

記念講演

138寺~

日本ハムお楽しみ
抽選会もあるよ!

テーマ：「私の野球人生
～ファイトーズの挑戦～」

講師：牧谷 宇佐美氏
北海道日本ハムファイターズ
ベースボールアカデミー講師



アトラクション

あさっぴーと影狼もやってくるよ!



- 事業所作品展示即売会（2階体育館）当日10：30～16：00（ただし、講演等の時は販売休止とします）
※11月22日（金）～11月29日（金）1階ロビー10：00～17：00に販売しています。但し月曜日は休館日です。
●加盟団体 事業所パネル展示（2階）11月29日（金）～12月6日（金）

主催：旭川市 / 後援：社会福祉法人 旭川市社会福祉協議会
事業実施法人：特定非営利活動法人 旭川障害者通路協議会
住所：旭川市宮岡通東4155-30 旭川市障害者福祉センターおびつた 事務局：電話/FAX：31-2226

手作り商品・食品など……

盛沢山!!

第 9 回 お び っ た 祭 り 報 告

第9回おびつた祭りが8月10日開かれました。1時間短縮して午後4時までの5時間でしたが、昨年同様3,600人のお客さんに来ていただきました。ステージではよさこい、ゴスペル、フラダンス、シャンソン、バトントワリング、吹奏楽、バンド演奏などが披露されました。恒例のミニSLも大人気で、600人以上のみなさんにのっていただきました。担当者もうれしい悲鳴をあげていました。また旭川夏まつりにも参加しているユニバーサル神輿も登場して、障害のある当事者の活動の幅が広がっているこ

とをアピールしました。

9回目を迎えたおびつた祭りの実行委員会も、準備の打ち合わせなどにも経験の積み重ねを感じさせるものがあり、とくにテントの組み立て、撤去などの手早さには担当した本人たちもびっくり！！という場面もありました。とは言っても、まだまだ不十分なところもあらわになって、10回目にむけて、より充実したお祭りになるように話し合いを続けていくところです。来年もどうぞよろしく願います。

集 編
記 後

▼電気代、灯油代、はたまた消費税も上がり、だんだん生活が苦しくなります。はたして景気は良くなるのでしょうか？

「誰もが安心して暮らせる」世の中にな
って行くのでしょうか？不安がいっぱいです。
皆様、お身体にお気を付けて下さいますように。(Y.A)

NPO法人 障連協にゆーす 第30号

- 発行日／2013年11月30日
 ■編集／NPO法人 旭川障害者連絡協議会
 ■発行者／理事長 高津 修
 ■印刷：地域活動支援センター「かがやき工房」 〒070-0035 旭川市5条通5丁目1690-1 TEL・FAX 29-1294
- 住 所／旭川市宮前通東4155番地30
 旭川市障害者福祉センター「おびった」3F ■
 電話・FAX／0166-31-2226